

後期高齢者の質問票（案）について

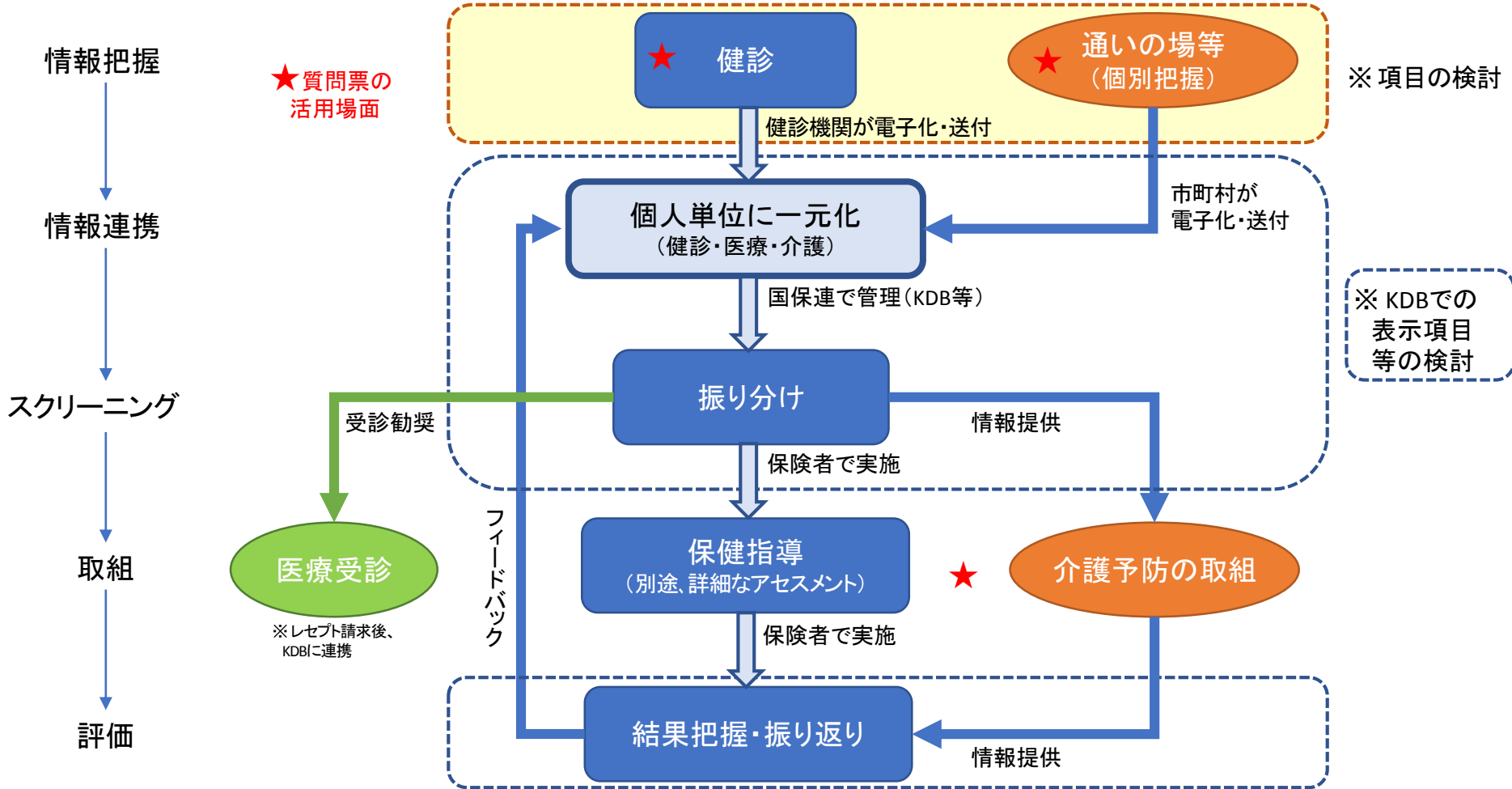
厚生労働省保険局高齢者医療課

後期高齢者の質問票が用いられる状況等の整理と方針

後期高齢者の質問票を活用する状況・方法、実施者、目的、利活用方法については、以下の方針を想定している。

状況等	質問票検討の際の方針
状況・方法	<ul style="list-style-type: none">①後期高齢者の健診時の活用を第一に位置づける。②ただし、他の活用を制限するものではない。 例：通いの場等において、地域の専門職が関与して必要な支援につなげる等③健診実施機関の実施状況に対応できるよう自記式及び他記式いずれでも可能な方法を想定する。
目的	健康課題等の把握、また必要な支援につなぐ。
利活用方法	<ul style="list-style-type: none">① 1.スクリーニング(高齢者の特性を踏まえ健康状態を総合的に把握)、2.保健指導による活用、3.行動変容の前後評価に活用する。② 特定健診の「標準的な質問票」に代わる位置づけのものとしてKDB等にデータ収載し、活用する。③ 教育ツールとして、被保険者へのフィードバックを行う。






質問票データの利活用について（イメージ図）



後期高齢者の質問票検討経過について

高齢者の質問票の検討スケジュールについて

○後期高齢者の質問票の検討については、「有識者会議」でのたたき台作成後、「作業チーム」での意見交換を経て、「あり方検討WG」において質問票案の承認を得る。「あり方WG」の承認後、「保険者による健診・保健指導検討会」に報告を行う。

	平成30年度				平成31年度
	12月	1月	2月	3月	4月
保険者による健診・保健指導検討会				3/28 第34回 	平成31年度以降 「高齢者の特性を踏まえた 保健事業ガイドライン」 に反映し、活用方法等の 提示を行う予定。
高齢者の保健事業のあり方検討 ワーキンググループ (あり方検討WG)				3/20 第7回 	
高齢者の保健事業のあり方検討 ワーキンググループ 作業チーム (作業チーム)			2/14 第6回 		
高齢者の健康状態を把握するための質問 票の標準項目案作成等に関する 有識者会議 (有識者会議)	12/27 第1回 	1/25 第2回 	2/28 第3回 